

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	群馬大学
設置者名	国立大学法人群馬大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科等名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数			省令で定める基準単位数	配置困難
			教養教育科目	専門科目	合計		
教育学部	学校教育教員養成課程	夜・通信	17	5	22	13	
社会情報学部	社会情報学科	夜・通信	17	19	36	13	
医学部	医学科	夜・通信	19	59	78	19	
	保健学科 看護学専攻	夜・通信	17	66	83	13	
	保健学科 検査技術科学専攻	夜・通信	17	50	67	13	
	保健学科 理学療法学専攻	夜・通信	17	53	70	13	
	保健学科 作業療法学専攻	夜・通信	17	42	59	13	
理工学部	化学・生物化学科	夜・通信	17	5	22	13	
	機械知能システム 理工学科	夜・通信	17	17	34	13	
	環境創生理工学科	夜・通信	17	10	27	13	
	電子情報理工学科	夜・通信	17	18	35	13	
	総合理工学科	夜・通信	17	5	22	13	
(備考) 教育学部の専門科目については、全専攻生が履修できる科目のみの単位数							

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<http://www.gunma-u.ac.jp/outline/out008/g1902>

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	群馬大学
設置者名	国立大学法人群馬大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<http://www.gunma-u.ac.jp/outline/out002/g1708>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
常勤	日本私立学校振興・共済 事業団 理事	2年 (H31.4.1～ R3.3.31)	総務・財務担当
非常勤	公益社団法人 群馬県 医師会事務局 嘱託	2年 (H31.4.1～ R3.3.31)	学長特命担当(男女 共同参画)
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	群馬大学
設置者名	国立大学法人群馬大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>各学部の授業科目を担当する教員は、『シラバス入力ガイドライン』に基づき、当該授業科目の授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準等を教務システムからWeb入力によりシラバスを作成している。</p> <p>なお、『シラバス』は、授業開講年度の4月にホームページに掲載し公表している。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>https://www.kyomu-sys.gunma-u.ac.jp/Portal/Public/Syllabus/SearchMain.aspx</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>各学生の学修成果に基づき、シラバスに記載した成績評価基準(授業評価方法)により、厳格かつ適正に単位授与又は履修認定を実施している。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>『G P A制度に関する申合せ』により、全学的に統一した算定方法等を定め、客観的な指標であるG P Aを設定するとともに、ホームページに掲載し公表している。</p> <p>この申合せにより算定したG P Aを基に成績分布状況を把握し、成績評価を適切に実施している。</p> <p>[G P A算出式]</p> $G P A = \frac{(S \text{の単位数} \times 4 + A \text{の単位数} \times 3 + B \text{の単位数} \times 2 + C \text{の単位数} \times 1 + D \text{の単位数} \times 0)}{\text{登録総単位数}}$	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>http://www.gunma-u.ac.jp/wp-content/uploads/2019/07/26810e0d747cc974bb22e34a105332d9.pdf</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p><卒業認定・学位授与の条件></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 以下の学修達成目標及び所属する学部・学科・課程が定める学位授与の要件を満足していること。 2. 所定の年限在学し、かつ所属する学部・学科・課程が定める単位を修得していること。 <p><学修成果の目標></p> <p>専門的学識，技能</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 所属する学部・学科・課程の専門分野において求められる専門的学識・技能を修得し、現実の諸課題に対してその活用ができる。 <p>幅広い教養，学際性</p> <ol style="list-style-type: none"> 2. 人間社会，歴史・文化，自然等についての幅広い教養と学際的理解に基づいて、様々な問題に対して多面的・総合的な判断ができる。 <p>論理的思考力，コミュニケーション力</p> <ol style="list-style-type: none"> 3. 論理的思考力とコミュニケーション能力を持ち、社会で生起する問題に対し主体的に取り組む意欲を持っている。 <p>社会人としての自覚，国際性</p> <ol style="list-style-type: none"> 4. 自然との共生を基盤とした豊かな人間性と広い視野及び社会的倫理観を持ち、社会から信頼され国内外で活躍することができる。 <p>上記の全学ディプロマ・ポリシーのほか、各学部のディプロマ・ポリシーや学生の修得単位数等を踏まえ、卒業判定会議（教授会等）において、適切に卒業を認定している。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>http://www.gunma-u.ac.jp/outline/out008/g1902/g2087#g001</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	群馬大学
設置者名	国立大学法人群馬大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.gunma-u.ac.jp/outline/out007/g1894
収支計算書又は損益計算書	http://www.gunma-u.ac.jp/outline/out007/g1894
財産目録	—
事業報告書	http://www.gunma-u.ac.jp/outline/out007/g1894
監事による監査報告(書)	http://www.gunma-u.ac.jp/outline/out007/g1894

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:年度計画(第三期) 対象年度:31)
公表方法: http://www.gunma-u.ac.jp/outline/out006/g1850
中長期計画(名称:中期目標・中期計画(第三期) 対象年度:28~33)
公表方法: http://www.gunma-u.ac.jp/outline/out006/g1850

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: http://www.gunma-u.ac.jp/outline/out008/g1902

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: http://www.gunma-u.ac.jp/outline/out006/out006_001/g1792

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 教育学部
教育研究上の目的（公表方法： http://www.gunma-u.ac.jp/wp-content/uploads/2015/02/daigakuhoujin-mokuteki27_4_1.pdf ）
（概要） 本学部は、新しい時代の学校教育を担う教員、中でも小学校・中学校・特別支援学校の教員を養成することを主な目的とし、豊かな教養と優れた人格、幅広い実践的な能力を十分に備えた人材を育成する。
卒業の認定に関する方針（公表方法： http://www.gunma-u.ac.jp/admission/adm001/adm001_001/g2089 ）
（概要） 所定の年限在学し、かつ所定の単位を修得した、次のような者に学士の学位を授与します。 1. 優れた人間性と豊かな教養を有している者 2. 各教科の内容について、深い認識を有している者 3. 各教科について、実践的な指導力を有している者 4. 現代の社会における教育の意義、学校の役割、教育に関する諸問題について、確かな見識を有している者 5. 子どもの成長・発達とそれを支える大人の役割について、十分に理解している者 6. 子ども、親、同僚などとコミュニケーションをとることができる者
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法： http://www.gunma-u.ac.jp/admission/adm001/adm001_001/g2089 ）
（概要） 1. 学校教員に求められる幅広い教養を培う教育 2. 教育に関わる様々な理論に裏付けられた、現実の教育問題を考える力を養う教育 3. 教科についての専門的知識を高める教育 4. 教科指導法など、学校教員として必要となる知識・技術を培う教育 5. 教育実習などの体験的学習を通して、実践的指導力を養う教育 6. 卒業研究を通して、思考力や表現力、課題解決能力、創造的な探究能力を養う教育
入学者の受入れに関する方針（公表方法： http://www.gunma-u.ac.jp/admission/adm001/adm001_001/g2089 ）
（概要） 1. 教職を目指す明確な意志と情熱を有する人 2. 児童・生徒の成長に関わることに喜びを感じられる人 3. 周囲とのコミュニケーション能力や協調性を備える人 4. 諸課題の解決に向けて粘り強く努力できる人 5. 系・専攻に関する事項に関心を持ち、教職を目指すために必要な基礎学力を有する人 ＜入学者選抜の方針・方法＞ 1. 一般入試 各系・専攻が定めた大学入試センター試験及び個別学力検査等（学力試験、小論文、実技試験、面接等）の成績並びに調査書を総合的に判断して選抜します。 2. 推薦入試 各専攻が定めた条件を満たし、出身学校長の推薦を受けた人を対象に、出願書類、面接、小論文、実技等を総合的に判断して選抜します。

学部等名 社会情報学部
教育研究上の目的 (http://www.gunma-u.ac.jp/wp-content/uploads/2015/02/daigakuhoujin-mokuteki27_4_1.pdf)
(概要) 本学部は、情報科学と人文・社会科学との融合のもとで、情報と人間の共存の在り方を追究し、高度情報化社会の要請に応える人材の育成、新しい学問分野の創造、地域社会及び国際社会に貢献することを目的とする。
卒業の認定に関する方針 (http://www.gunma-u.ac.jp/admission/adm001/adm001_001/g2091)
(概要) 〈学位授与の条件、達成度・能力評価の基準〉 所定の年限在学し、かつ所定の単位を修得した者に学士の学位を授与する。 上記のことを前提に、国立大学唯一の社会情報学部であることから、学士に求められる能力評価の一般的な基準を参考にしつつも、高度情報社会において有用な能力を獲得したかどうかを厳しく評価することとする。 〈学修成果の目標〉 1. 社会で情報が生産・流通・加工・蓄積・活用される一連のプロセス（社会情報過程）に関する知識を有し、課題を理解できること 2. 情報社会に生起する組織や地域社会の諸課題に関心を持ち、その解決に意欲を持つこと 3. 科学的・批判的に思考・判断する能力を有し、自ら得た知見を分かりやすく説明・伝達する能力を備えていること 4. 実践的な情報処理能力と課題に即したデータの収集・分析能力を有し、適切な考察を行うことができること 5. 外国語運用能力を有し、国内外で活躍できること
教育課程の編成及び実施に関する方針 (http://www.gunma-u.ac.jp/admission/adm001/adm001_001/g2091)
(概要) 〈教育の目標〉 1. 大学での学修に必要な基礎的な学力や学修の方法・技術を修得させ、多角的な視点から問題を探究する姿勢を身に付けさせる教育 2. 専門教育を支える十分な社会情報学的な思考方法を醸成する教育 3. 情報リテラシーやデータ収集・分析能力、外国語運用能力等を養成する教育 4. 高度情報社会の特質を専門的・多角的に読み解く力や問題解決能力を養成する教育 5. 自ら設定したテーマに沿って調査・研究活動を進め、それを論文や提案として結実させる能力を養成する教育 〈教育課程の構成〉 1. 初年次を中心に編成された人文・社会科学、自然科学、外国語科目等の教養基盤科目、教養育成科目により基礎的素養を身に付ける教育を展開する。また、専門教育の基礎となるコア科目及びスキル系科目を学修させ、教養教育から専門教育へのスムーズな導入を図る。 2. これを基盤として、教育目標を達成するための専門教育をカリキュラムマップに則って系統的に行う。学んだ知識を実際の場面で応用できる技術・方法の修得のため、演習を重視し、専門分野での実践力を養う。 〈教育内容・方法〉 1. 学生の主体的・能動的な参加に基づいた講義・演習・実習の各科目 2. シラバスに詳述されたカリキュラムを構成する授業科目の目標・内容・教育方法・評価方法等に基づいた授業の展開 3. シラバス記載の目標の達成に向けた講義時間外の自己学習(予習・復習)の督励

〈学修成果の評価〉

学修成果の評価は、各科目についてはシラバス記載の成績（達成度）評価基準に基づいて行い、学則に従いS, A, B, C, Dの5段階での判定とこれを基にしたGPAの決定を行う。

入学者の受入れに関する方針（http://www.gunma-u.ac.jp/admission/adm001/adm001_001/g2091）

（概要）

〈人材育成の目標〉

社会で情報が生産・流通・加工・蓄積・活用される過程に関する知識を有し、批判的な思考・判断によって高度情報社会の課題を発見し、その解決を科学的な思考と実践的な情報処理やデータの収集・分析によって提案できる人材の育成

〈入学者に求める能力・資質〉

1. 社会の仕組みや情報技術に関する基本的な知識を持つ人
2. 科学的な考え方や基本的な分析手法を身につけている人
3. 思考力・表現力の基礎となる言語運用能力を身につけている人
4. 高度情報社会の在り方や望ましい発展に関心がある人
5. 情報処理能力やデータの収集・分析能力を身につけようとする人
6. 外国語運用能力の向上と多文化の理解に関心がある人

〈入学に際し必要な基礎学力〉

入学試験で選択した科目に限らず幅広く学習していることが望ましい。国語や数学、英語、地理歴史、公民、理科等を学習し、さらに広く情報社会の出来事に関心を持つようにしておくことが望ましい。

〈入学者選抜の方針・方法〉

1. 一般入試（高等学校卒業ないしそれと同等の資格を備えた人を対象）
大学入試センター試験により広範な基礎的な学力をはかります。
前期日程では、個別試験によって数学又は外国語の学力をさらに見ます。
後期日程では、個別試験によって社会的関心や論理的な思考能力、表現能力などを見ます。
2. 推薦入試・特別入試
推薦入試では、学習成績、学校活動及び人物に優れた人材を対象に、小論文と面接の試験を行います。
社会人、帰国生、私費外国人留学生を対象とする特別入試では、小論文、学力テスト、面接の試験を行い、基礎学力や社会的関心、論理的な思考能力、表現能力などを見ます。
3. 第3年次編入学試験（大学・短大・専修学校等の卒業生等や社会人で受験資格を備えた人を対象）
学力テスト、面接の試験を行い、第3年次から学修を行う能力を見ます。

学部等名 医学部医学科
<p>教育研究上の目的 (http://www.gunma-u.ac.jp/wp-content/uploads/2015/02/daigakuhoujin-mokuteki27_4_1.pdf)</p> <p>(概要) 医学科は、次の各号に掲げる人材の育成を目的とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 高い倫理観を持って患者中心の医療を実践し、医療チームのスタッフから信頼される医師 (2) 広い医学知識と高い臨床能力を持ち、進歩する医学知識・医療技術を、生涯にわたり獲得し続けることのできる医師 (3) 高度な研究を推進し、その成果を社会に還元できる基礎医学、臨床医学及び社会医学の研究者及び教育者 (4) 広い視野を持ち、医療政策の立案・実施に携わる医療行政担当者
<p>卒業の認定に関する方針 (http://www.gunma-u.ac.jp/admission/adm001/adm001_001/g2093)</p> <p>(概要) 所定の年限在学し、かつ所定の単位を修得した、次のような者に学士の学位を授与します。</p> <p>医学と医療が自然科学の上に成り立ち、かつ社会の中で人を対象として行われるものであることを理解し、科学的知(Science)、倫理(Ethics)、技能(Skill)の3つの面(SES)にわたって生涯自己研鑽を続けることができる者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医師にふさわしい倫理観と責任感を有し、医療チームの中で医師として適切な行動をとることができ、他者と信頼関係を築ける 2. 医師、医学研究者、医学教育者又は医療行政担当者となるために必要な知識を身に付けるとともに、新たな課題にも対応できる問題解決能力を修得した者 3. 医学知識に裏打ちされた臨床と研究の能力を修得し、患者により良い医療を提供する能力と、医学や医療の発展に貢献する意欲を備えた者
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (http://www.gunma-u.ac.jp/admission/adm001/adm001_001/g2093)</p> <p>(概要) 医学と医療が自然科学の上に成り立ち、かつ社会の中で人を対象として行われるものであることを理解し、科学的知 (Science)、倫理(Ethics)、技能(Skill)の3つの面 (SES) にわたって生涯自己研鑽する力が付く教育</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自分をふりかえり他者を思いやる心が育ち、コミュニケーションを通して相互理解を図る態度が身に付く教育 2. 自然科学、医学、医療、人間と社会に関わる知を習得し、それを実践でいかす力が身に付く教育 3. 新たな課題にも対応できる問題解決能力が身に付き、リサーチマインドが育つ教育 4. 生涯にわたって社会貢献と自己研鑽に努める意欲が育つ教育

入学者の受入れに関する方針 (http://www.gunma-u.ac.jp/admission/adm001/adm001_001/g2093)

(概要)

医学と医療が自然科学の上に成り立ち、かつ社会の中で人を対象として行われるものであることをふまえ、医学生として、科学的知 (Science)、倫理 (Ethics)、技能 (Skill) の3つの面 (SES) にわたって自己研鑽に励むことができる人

1. 豊かな感受性、奉仕の精神を備え、医師としてふさわしい資質を身につけることを目指して、不断の努力を積み重ねられる人
2. 医療、医学研究、医学教育もしくは医療行政などの分野において、社会に貢献することへの志と強い信念を持っている人
3. 本学科の教育内容を理解するために必要な総合的基礎学力を十分に備えている人

<入学に際し必要な基礎学力>

特に日常的な学習が十分に行われていることが望ましいのは、国語と英語である。専門科目を学ぶために必要となるのは、数学では、数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・Bであり、理科では、受験科目にかかわらず、物理 (物理基礎を含む)、化学 (化学基礎を含む)、生物 (生物基礎を含む) である。

<入学者選抜の方針・方法>

社会構造の複雑化に伴って医師に対する社会的要請は多様化しています。本学は修学背景や価値観の異なる多様な人材を求め、以下の選抜を行います。

1. 一般入試 高等学校卒業、又はそれと同等の資格を備えた者に広く門戸を開いています (一般枠と地域医療枠を設けています)。
2. 推薦入試 出身学校長の推薦に基づき、調査書類、学習成績、適正評価、小論文及び面接試験によって選抜しています (一般枠と地域医療枠を設けています)。
3. 編入学試験 4年制以上の大学における2年以上の在学者 (見込みの者を含む) で指定の単位を修得した者又は修得予定の者、4年制以上の大学の卒業生又はそれに準じる者に受験資格があり、小論文、面接等により選抜しています (一般枠と地域医療枠を設けています)。

<p>学部等名 医学部保健学科</p>
<p>教育研究上の目的 (http://www.gunma-u.ac.jp/wp-content/uploads/2015/02/daigakuhoujin-mokuteki27_4_1.pdf)</p> <p>(概要) 保健学科は、次の各号に掲げる人材の育成を目的とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 高度化・専門化する保健医療の担い手となる，看護師，保健師，助産師，臨床検査技師，理学療法士及び作業療法士 (2) 医療技術の学問体系の確立と発展に寄与しうる専門職 (3) チーム医療においてリーダーシップを発揮できる人材 (4) 国際社会で活躍できる専門職
<p>卒業の認定に関する方針 (http://www.gunma-u.ac.jp/admission/adm001/adm001_001/g2095)</p> <p>(概要) 所定の年限在学し，かつ所定の単位を修得し，各専攻のディプロマ・ポリシーが規定する学識と能力を持つ次のような者に学士の学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 保健医療の中核を担う専門職業人となるために必要な知識と技術を備え，人間の尊厳を尊ぶ心を持つ者 2. 保健医療の担い手として，将来に向け自らを向上させてゆく意欲と自己開発力を持つ者 3. チーム医療を担う自覚を有し，関係する人々との相互理解と円滑な協働関係が築ける者 4. 保健医療の諸課題に対し，多面的視点からの柔軟な思考，的確な判断と対応ができる者
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (http://www.gunma-u.ac.jp/admission/adm001/adm001_001/g2095)</p> <p>(概要) 知性と行動力を備えた人間性豊かな保健医療人材の育成を目指し，次のような教育を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 全人的医療の担い手としての人間性の涵養と，専攻分野で必要な基礎力の育成を図る教育 2. 専門教育では基礎から臨床に亘る階層的知識の積み上げを図るとともに，先端の保健医療の学習にも配慮する教育 3. 保健医療の担い手としての主体的思考・行動力と豊かな感性を持つ人材育成を図る教育 4. チーム医療の担い手としての意識と，そこで必要な能力の育成を図る教育 5. 保健医療の諸課題に対応できる地域的視点と国際的視野を持つ人材育成を図る教育

入学者の受入れに関する方針（ http://www.gunma-u.ac.jp/admission/adm001/adm001_001/g2095 ）

（概要）

＜人材育成の目標＞

1. 豊かな見識を身に付け、人間の尊厳を尊重し、全人的医療を担う人材を育成します。
2. 本学科での学修を通して、学士（看護学・保健学）に求められる知識、技能、態度、創造的思考力を身に付けた人材を育成します。
3. 将来に向け自らを向上させていく意欲と自己開発力を持ち、地域や国際社会での保健医療の諸課題に広く対応できる人材を育成します。
4. 保健医療の現場においてチーム医療を担う人材を育成します。
5. 看護師・助産師・保健師、臨床検査技師・細胞検査士、理学療法士、作業療法士となることを通じて、高度化・専門化する保健医療専門職の次世代のリーダーや教育・研究者を育成します。

＜入学者に求める能力・資質＞

1. 柔軟な発想、みずみずしい感性、高い意欲を持っていること。
2. 他者とのコミュニケーションが円滑にできること。
3. 理系課題に対して、論理的な思考を行い、他人に説明できること。
4. 文系課題に対して、自らの考えを交えて要約して他人に説明できること。
5. 英文課題に対して、自らの考えと併せて他人に説明できること。

＜入学に際し必要な基礎学力＞

1. 各入学者選抜の出願要件に定める科目について履修又は履修見込みであること

＜入学者選抜の方針・方法＞

1. 一般入試では、基礎的な学習の達成状況を重視します。
2. 推薦入試では、定員の約3割～4割を募集します。
3. 帰国生入試、社会人入試、私費外国人留学生入試を行います。
4. 医療技術系短大、専門学校等の卒業生を対象に、第3年次編入学試験を行います。

学部等名 理工学部
<p>教育研究上の目的 (http://www.gunma-u.ac.jp/wp-content/uploads/2015/02/daigakuhoujin-mokuteki27_4_1.pdf)</p> <p>(概要)</p> <p>本学部は、21世紀の人類が進むべき新たな指針を見だし、人と自然との調和のとれた豊かな未来社会を創造するため、高い専門的能力と健全な理念を持ち、地域・社会、日本、そして世界に貢献できる人材を育成することを目的とする。</p> <p>目的を達成するため、学生と教員との緊密なつながりを基本として、次の各号に掲げる教育を行うものとする。</p>
<p>卒業の認定に関する方針 (http://www.gunma-u.ac.jp/admission/adm001/adm001_001/g2097)</p> <p>(概要)</p> <p>所定の年限在学し、かつ所定の単位を修得した、次のような者に学士の学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自然や社会の理解に関する俯瞰的・論理的な見方や考え方を修得した者 2. 理工学に関する基礎および専門的な知識を修得した者 3. 社会の中で専門分野の知識を活かし、未知なるものの探求、新たなものの創生や諸課題の解決に取り組める者 4. 他者の意見を理解し、自らの意見を伝え、外国の人ともコミュニケーションができる素養を持つ者
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (http://www.gunma-u.ac.jp/admission/adm001/adm001_001/g2097)</p> <p>(概要)</p> <p>世界の知的基盤を担う創造性豊かな人材を育成するため、学生と教員との緊密なつながりを基本として、次のような教育を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 理学に根ざした俯瞰的な物の見方、考え方を身に付け、工学に根ざした実践的・独創的な課題解決能力を養う理工学教育 2. 国際的な水準を満たし、かつ各教員の特長を活かした教育 3. 個人の発想や知的好奇心を尊重し、未知の分野に挑戦する活力と創造性を育む教育 4. 国際コミュニケーション能力を備え、世界を舞台に研究者・技術者として活躍できる人材を育成する教育
<p>入学者の受入れに関する方針 (http://www.gunma-u.ac.jp/admission/adm001/adm001_001/g2097)</p> <p>(概要)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 誰も行ったことのない新しいことに挑戦することが好きで、失敗をおそれない人 2. 自らの能力向上を目指し、そのための労を惜しまない人 3. 自然現象や科学技術などに興味があり、それらを通じて自然科学の原理原則を最後まで追究したい人 4. 理工学を学ぶ上での基礎学力を有し、理学的基盤(数学、物理学、化学、生物学など)の理解を基に新理論・新技術の開発にチャレンジしたい人 5. 理工学分野で国際的な活躍を目指す人 <p><入学者選抜の方針・方法></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 一般入試前期日程 大学入試センター試験及び個別学力検査等(学科が指定する学力試験)の結果並びに調査書を総合して判定します。 2. 一般入試後期日程 大学入試センター試験及び面接の結果並びに調査書を総合して判定します。

3. A0入試（専門学科・総合学科特別入試） 調査書，志望理由書，自己推薦書，面接，小論文（実施しない学科があります），プレゼンテーション（実施しない学科があります）を総合して判定します。
4. 推薦入試 面接，小論文（実施しない学科があります）及び出願書類を総合して判定します。
5. 帰国生等特別入試 面接，小論文（実施しない学科があります）及び出願書類を総合して判定します。
6. 私費外国人留学生入試 日本留学試験，英語の能力試験（TOEFL等）及び面接の結果並びに成績証明書を総合して判定します。
7. 第3年次編入学試験 学力試験（実施しない学科があります），面接（口頭試験），出身学校における成績及び人物調書を総合して判定します。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：

<http://www.gunma-u.ac.jp/outline/out002/g1703#kyouiku>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	6人	—					6人
教育学部	—	33人	40人	5人	0人	0人	78人
社会情報学部	—	12人	13人	0人	2人	1人	28人
大学院医学系研究科 （医学部医学科）	—	39人	30人	22人	61人	0人	152人
大学院保健学研究科 （医学部保健学科）	—	27人	14人	8人	25人	0人	74人
理工学府（理工学部）	—	70人	77人	1人	43人	1人	192人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		595人					595人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		群馬大学 大学情報データベース https://univ-db.media.gunma-u.ac.jp/public/main.php?pid=res_search_form リサーチマップ https://researchmap.jp/ （上記2つのデータを統合し、新データベースを作成・移行中。令和2年3月までに完成）					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
全学 FD 連続講演会「大学教育のグランドデザイン」として、外部講師を招へいして実施しているほか、平成19年度から教員の意欲向上及び大学教育の活性化を図ることを目的として行っているベストティーチャー賞の選考過程において候補者が行う模擬授業を、FDとして教員に公開している。 また、各学部固有の特性があることから、教育技術向上や認識共有のため各学部においても実施している。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
教育学部	220人	234人	106.4%	880人	944人	107.3%	—	—
社会情報学部	100人	102人	102.0%	440人	475人	108.0%	20人	20人
医学部医学科	108人	108人	100.0%	723人	759人	105.0%	15人	15人
医学部保健学科	160人	163人	101.9%	660人	657人	99.5%	10人	0人
理工学部	510人	537人	105.3%	2,100人	2,270人	108.1%	30人	40人
工学部	—	—	—	6人	6人	100.0%	—	—
合計	1,098人	1,144人	104.2%	4,809人	5,111人	106.3%	75人	75人
（備考） 平成25年度に工学部を理工学部へ改組。工学部は平成24年以前入学者。								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
教育学部	223人 (100%)	25人 (11.2%)	186人 (83.4%)	12人 (5.4%)
社会情報学部	118人 (100%)	3人 (2.5%)	110人 (93.2%)	5人 (4.2%)
医学部医学科	107人 (100%)	0人 (0%)	0人 (0%)	107人 (100%)
医学部保健学科	157人 (100%)	19人 (12.1%)	132人 (84.1%)	6人 (3.8%)
理工学部	570人 (100%)	323人 (56.7%)	228人 (40.0%)	19人 (3.3%)
工学部	5人 (100%)	0人 (0%)	3人 (60.0%)	2人 (40.0%)
合計	1,180人 (100%)	370人 (31.4%)	659人 (55.8%)	151人 (12.8%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
進路状況・産業別就職情報 http://www.gunma-u.ac.jp/career/car005/g2077 卒業生の就職先 http://www.gunma-u.ac.jp/career/car005/g2079				
(備考) 割合は、小数点2位を四捨五入しており計は必ずしも一致しない				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
教育学部	229人 (100%)	213人 (93.0%)	11人 (4.8%)	5人 (2.2%)	0人 (0%)
社会情報学部	106人 (100%)	91人 (85.8%)	8人 (7.5%)	7人 (6.6%)	0人 (0%)
医学部医学科	108人 (100%)	83人 (76.9%)	21人 (19.4%)	4人 (3.7%)	0人 (0%)
医学部保健学科	161人 (100%)	148人 (91.9%)	8人 (5.0%)	5人 (3.1%)	0人 (0%)
理工学部	543人 (100%)	479人 (88.2%)	42人 (7.7%)	21人 (3.9%)	1人 (0.2%)
合計	1,147人 (100%)	1,014人 (88.4%)	90人 (7.8%)	42人 (3.7%)	1人 (0.1%)
(備考)					
その他は、学校教育法102条第2項及び学校教育方施行規則第159条に規定する大学院への飛び入学制度に係る中途退学 割合は、小数点2位を四捨五入しており計は必ずしも一致しない					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>各学部 of 授業科目を担当する教員は、『シラバス入力ガイドライン』に基づき、当該授業科目の授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準等を教務システムから Web 入力によりシラバスを作成している。</p> <p>なお、『シラバス』は、授業開講年度の4月にホームページに掲載し公表している。</p>
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>各学生の学修成果に基づき、シラバスに記載した成績評価基準(授業評価方法)により、厳格かつ適正に単位授与又は履修認定を実施している。</p>				
学部名	学科名	卒業に必要な単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
教育学部		139単位	有	30単位/学期
社会情報学部		136単位	有	44単位/年
医学部	医学科	189単位	有	— 単位
医学部	保健学科	125単位	有	— 単位
理工学部	化学・生物化学 学科	128単位	有	30単位/学期
理工学部	機械知能システム 理工学科	134単位	有	30単位/学期
理工学部	環境創生理工 学科	130単位	有	30単位/学期
理工学部	電子情報理工 学科	134単位	有	30単位/学期
理工学部	総合理工学科	124単位	有	30単位/学期
GPAの活用状況(任意記載事項)	http://www.gunma-u.ac.jp/wp-content/uploads/2019/07/26810e0d747cc974bb22e34a105332d9.pdf			
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)	公表方法：			

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法： http://www.gunma-u.ac.jp/outline/out008/g1902

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
教育学部	学校教育教員養成課程	535,800 円	282,000 円	円	
社会情報学部	社会情報学科	535,800 円	282,000 円	円	
医学部	医学科 保健学科	535,800 円	282,000 円	円	
理工学部	化学・生物化学科 機械知能システム理工学科 環境創生理工学科 電子情報理工学科	535,800 円	282,000 円	円	
	総合理工学科	267,900 円	141,000 円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>学生が入学してから卒業するまでの間、学生生活全般にわたり、学生センター（学務部）と各学部が相互に連携しながら学生をサポートする体制を構築している。</p> <p>また、教務システムにより、web（インターネットに接続されたパソコン、携帯電話、スマートフォン等）から授業に関することをはじめ、試験日程、授業料免除、奨学金、学生の呼び出し等に至るまで、重要な情報を確認することができる。</p> <p>また、ポートフォリオシステムを活用し、学生に対して担任（チューター）教員が学修指導を行っている。</p>
b. 進路選択に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>学生の一人ひとりの適性にあった進路決定ができるよう就職活動の支援を行うため「キャリアサポート室」を設置しており、キャリア教育、インターンシップ、就職ガイダンスを実施し、社会で必要な能力育成への支援等を行っている。</p> <p>また、キャリアカウンセラーによる相談対応や各企業からの求人・会社案内・公務員受験案内、就職関連図書等の閲覧・貸出できるよう各種情報を取り揃えている。</p>
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>学生を身体的・精神的にサポートする「健康支援総合センター」を設置し、「からだ」と「こころ」の健康相談、カウンセリングなどを実施するとともに、当該センターの公式ツイッターを活用し、健康管理・感染症予防対策等の情報を随時発信している。</p> <p>また、「障害学生サポートルーム」を設置し、さまざまな障害のある学生が、修学上、不利な立場におかれることのないよう学習環境を調整し、一人ひとりの学生がその個性と能力を發揮できるようにサポートを行っている。</p>

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：<http://www.gunma-u.ac.jp/outline/out008/g1902>